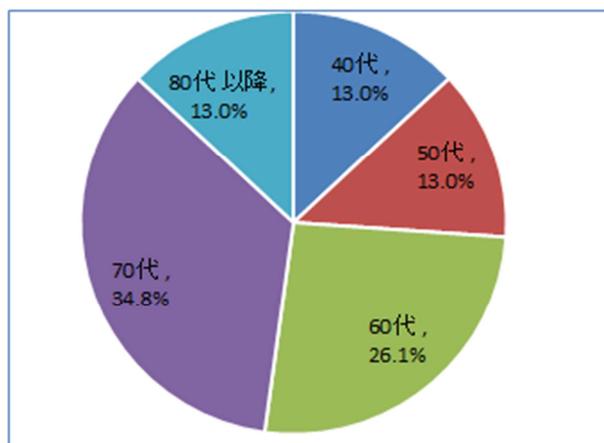


令和6年度第2回 希望を持てる新しい日向市座談会 アンケート結果

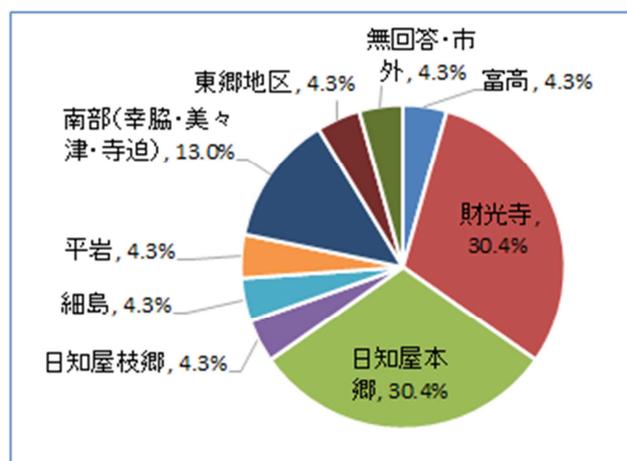
Q 1. あなたの年代を教えてください。

選択肢		割合	件数
1	10代	0.0%	0
2	20代	0.0%	0
3	30代	0.0%	0
4	40代	13.0%	3
5	50代	13.0%	3
6	60代	26.1%	6
7	70代	34.8%	8
8	80代以降	13.0%	3
a	無回答	0.0%	0
合計		100%	23



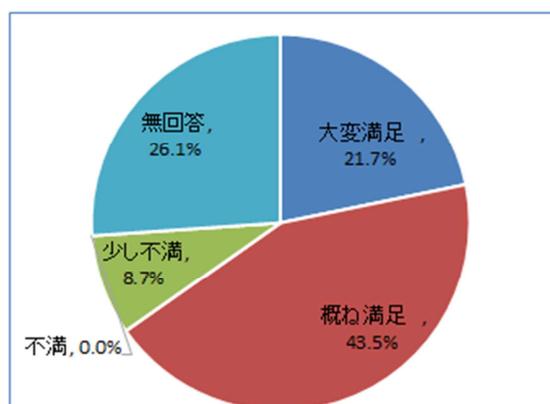
Q 2. あなたがお住まいの地区名をお書きください。

選択肢		割合	件数
1	新町	0.0%	0
2	富高	4.3%	1
3	塩見	0.0%	0
4	財光寺	30.4%	7
5	日知屋本郷	30.4%	7
6	日知屋枝郷	4.3%	1
7	細島	4.3%	1
8	平岩	4.3%	1
9	南部(幸脇・美々津・寺迫)	13.0%	3
10	東郷地区	4.3%	1
a	無回答・市外	4.3%	1
合計		100%	23



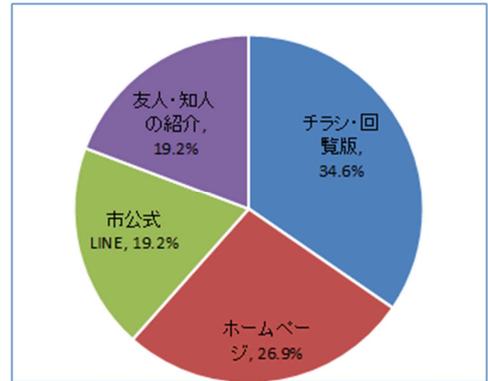
Q 3. 本日の座談会の感想をお聞かせください。

選択肢		割合	件数
1	大変満足	21.7%	5
2	概ね満足	43.5%	10
3	少し不満	8.7%	2
4	不満	0.0%	0
a	無回答	26.1%	6
合計		100.0%	23



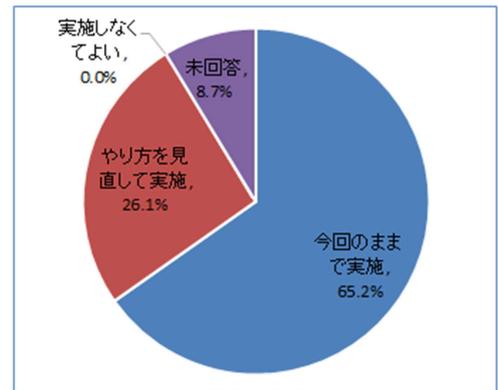
Q 4. 本日の座談会をどのようにして知りましたか。(複数回答)

選択肢		割合	件数
1	チラシ・回覧版	34.6%	9
2	ホームページ	26.9%	7
3	市公式LINE	19.2%	5
4	友人・知人の紹介	19.2%	5
5	その他	0.0%	0
合計		100%	26



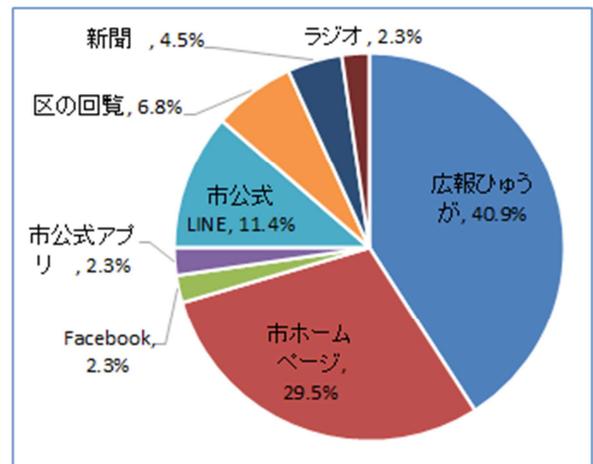
Q 5. 今後の座談会の実施について

選択肢		割合	件数
1	今回のままで実施	65.2%	15
2	やり方を見直して実施	26.1%	6
3	実施しなくてよい	0.0%	0
4	未回答	8.7%	2
合計		100%	23



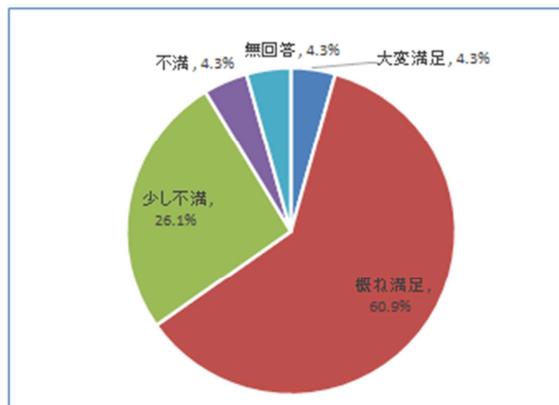
Q 6. 市からの行政情報等の情報を得るために、よく利用する方法を、ご記入ください。(複数回答)

選択肢		割合	件数
1	広報ひょうが	40.9%	18
2	市ホームページ	29.5%	13
3	Facebook	2.3%	1
4	市公式アプリ	2.3%	1
5	市公式LINE	11.4%	5
6	区の間覧	6.8%	3
7	新聞	4.5%	2
8	テレビ	0.0%	0
9	ラジオ	2.3%	1
合計		100%	44



Q 7. 市が行う行政情報の提供について、ご記入ください。

選択肢		割合	件数
1	大変満足	4.3%	1
2	概ね満足	60.9%	14
3	少し不満	26.1%	6
4	不満	4.3%	1
a	無回答	4.3%	1
合計		100%	23



Q 8. 市の情報提供に関して、ご意見・ご要望があれば、自由に記入をお願いします。

- ・5つのマニフェストを掲げているが、進行状況をネットに載せてほしい。
- ・行政の情報発信は今の状態で悪くはない。SNS等の発信は良いが、通信環境がみな均一ではないと認識してほしい。通信状態の改善に取り組んでいただきたい。
- ・市長がいろいろな提案に真摯に対応されていて、今後の市行政について安心しました。安心安全の日向市づくり大切ですね。
- ・このまま市長が魅力的に情報発信を続けてくれたらいいと思う。
- ・この座談会を休日の昼間などに試して欲しい。若い世代が来てくれるかも。市長自ら市政の動きを伝えるこの座談会はとてもいい場だと思います。
- ・情報の提供のやり方について昔、劇団四季の広報の方から日向市はちょっと…と言われた思い出が…なんか他にもっとやり方があるのでしょうか…素人には分かりませんが
- ・高校生などの意見も聞きながら、子供でも分かりやすく、興味を持てるような情報発信はいかがでしょうか？

Q 9. 日向市に提案したいことがあればご記入ください。

- ・収入で保育料が決まるが、収入の枠に幅がありすぎるので検討しなおしてほしい。
- ・自主防災会主導の避難所を設けてほしい。
- ・子供ファースト・学童には問題あり。パワハラ等で注意不可で児童の多動性増加で今後の未来が大変。
- ・要望への返事は欲しい。
- ・住みたくないアンケートの一位は交通手段が悪いということでした。特に中山間地域の交通手段の改善に努めていただきたい。子供ファーストの関連から、子供の救急外来があると子育ての充実が図られると
- ・行政が誠意ある、寄り添う姿勢が欲しい。
- ・国道、県道、市道の雑草をキレイに！民間の協力も必要！ゴミを捨てない、ゴミを拾う！職員さんも協力を！

- ・市職員のメンタルヘルスは？職員は市民の財産である。
- ・日向市駅を使いやすく、駅は市の顔です。①トイレが不便（便器のボタンが押しにくいので、そのままの状態が・・・）②トイレのそばにベンチ、長椅子をおいてほしい③お茶をする空間が欲しい④空調がない⑤無駄な空間を有効活用
- ・子供の教育について・図書館について
- ・今、住宅関係（特に地元の工務店など）は少子高齢化（人手不足）と資材・燃料等の高騰で厳しい状況が続いています。宮崎スギ（耳川スギ）のPRを含めて、公共事業、地元の住宅（リフォーム）にぜひ耳川スギを使用してもらえようPRをお願いしたい。日向市のブランドとして活用してもらいたいと思います。『ひなたスギ』もいい名称ですね
- ・文化的イベントの実施を望む。
- ・デジタルノマドが滞在先を選ぶ要因の一つは、交通の便です。日向市駅をタッチ決済で通過できるようにしなければ話にならない。ゴミの出しにくさを改善しないと別に日向でなくていいんじゃないかと移住先に選んでももらえない。
- ・木材利用の出口戦略について 日向市に住む子育て世帯の若者が家を建てやすい、増改築しやすい環境づくり伐採時期の来ている耳川スギを更新して再造林を促し、公益的機能を発揮しやすい山づくりができるように、地元での木材利用を進めてほしい。Uターン者に対する支援（50～60代世代）
- ・上町保育園の施設管理予算、もしくは別建てで階段の屋根、車置き場の屋根、舗装などを、子育てしている保護者のためにも今年度中をお願いします。
- ・電話対応の質の向上を強く求める。最近は少しマシになりましたが、まだまだです。
- ・避難所のペット同伴の認めてほしい。延岡は9か所OKとあった。避難所も地区に任せて、地区の人でペットを認める方向では。
- ・のべおか健康マイレージ、延岡コインのように生きることがポイント還元になる仕組みを考えてほしい。飛行機のステータスの市民版の歩数とか、ゴミ拾いポイントとか、参加したら、やったらもらえるポイント、そして買い物等で使えるしくみ。
- ・①人口減少が続いています。関東圏や都市部への転出は若者であれば(進学や就職等)で仕方がないものはあるかと思えます。ただ、データを分析した上でどの年代が一番転出しており、転入してきた方の年齢、理由を元に上位2位にての分野の強化、それ以外でも有識者の介入を元に今後日向市で期待できる分野への支援等を含めて人口を増やすことも必要ではないでしょうか？
- ②それぞれの分野で行政主体での課題の抽出から対応策を、市内のみでまず検討して決めるのではなく、骨子を定める前の段階で、市内の専門職団体等と市内関係者で作るワーキンググループを作り日向市内のアセスメント⇒課題の抽出⇒課題の選定⇒対応策案作成を実施した方が、より身近な問題への対策が行えていくのではないかと考えます。
- ③予算の使い方について、上記②にも関連しますが、よく提案をした場合に「財源がない」と言われます。財源がないのではなく、使い方が問題ではあると思えます。
予算書を見ると専門職の立場で見た場合と市職員と見た場合で、現場との温度差がありすぎている為、使わなくても(減額しても)良い所に予算が使われている部分が多岐にわたって見られ

ます。

例えば、市の計画を作成する時に、シンクタンクを利用する事は凶らずも悪い事とは思いませんが、専門職が力を付けている団体であれば、そこと提携(委託等)を行い、市職員と一緒に作成する事でより身近で低予算で作成する事も可能ではないかと思えます。年間にしたら少ない予算かもしれませんが、少しでも削減していく所は削減していくことがまずは大事ではないかと。

浮いた分を必要な所へ振り分ける事で市全体の予算内でより良いものができるのではないかと考えます。

- ・市職員の生産性向上について。各分野で生産性向上を言われています。しかし、市の職員を見ている限り、生産性向上と逆を行っているように感じます。

3年程度での異動もありますが、どの分野でも引き継ぎが上手く機能していない事も感じますし、担当職員によって言われる事(制度の理解)が違い、振り回される事が多々あります。市をより良くしていくのは、市の職員だけが担う事ではないです。官民がと良く言葉は出ますが、未だに協力関係が築けていけてない事、「市の職員がリーダーにならなければ」の考えがすでに古いのではないのでしょうか。

市職員は、制度(法)の見張り役としてはもちろん大事ですが、市民を支えているのは現場です。それぞれの視点で、どのような施策が良いのかを話し合い、意見のぶつかり合いをし、より良い施策にしていく為のブラッシュアップを行う

必要があるにも関わらず、聞く耳を持たない。そのくせ言い訳として「国(県)が。」という。もちろん大きな枠組みでの仕組みを作っているのは国であり、県でもありますが、それって責任転換ではないのでしょうか？

残業も当たり前のようにされておりますが、働き方改革を行わなければならない昨今、時代錯誤でもありますし、職員の残業代減少させる事でも電気代も減少できより予算の削減に繋がれるのではないのでしょうか？

併せて働き方改革も生産性向上も行えますので。

現在の日向市の問題としては、どこの地方行政にとってもですが、人口減少、少子高齢化が上がります。しかし、地方の施策のみでは解決できないのも事実でもあります。人口が減少していくという事はすなわち税収、働き手の減少につながります。税収を上げる為には、人を増やす(出産、育児支援、移住者支援等)か、企業(法人)の収入を上げる(法人税)、もしくは、観光客等を増やす(日向市での消費を上げる等)の施策しかないかと思えます。

子供ファーストはもちろん重要です。しかし、その為に産休、育休時の収入減少や企業側としても産(育)休時の職員配置、また育休復帰後の追加した職員の処遇等についても課題です。

市長も言われていた通り、日向市がより住みやすくする為に、魅力ある市となる為に施策を検討して頂く必要があります。

その中でご提案したい事として、他の市がしている良い事をまねる事も大事ではありますが、人口の取り合いとなる今後としては、日向市独自の取組、しかも突飛な、どこもしていないような事を先んじて行っていく事が重要だと考えます。

i) 終末期を自宅で迎える事の出来る日向市。

現在日向市は、自宅への訪問診療をして下さるDrや病院が増えており、また訪問看護事業所も増えております。わざわざ入院をしなくても自宅で点滴ができたり、生活ができる環境が整っているのです。

全部の病気はさすがに無理ですが。病院にもメリットがあります。早めに退院する事で、単位は高いものが取得できる為、収入も良くなる。また、ベッドの回転率が上がる事により緊急時の受け入れ体制もより良くなる。

日向市が掲げている”住み慣れた地域で…”の考えにも寄り添える。

何より、環境も良く、支援策が充実しているのであれば、都会で退職した方の受け皿となりえ、サーフィンを目的に移住者の獲得にもつながり、その家族が長期休暇等で訪れるようになる事で経済効果も期待できる。

ただし、現在の介護職員不足等によりいくら医療系が充実していたとしても在宅介護を支援する体制が整わないと無理である。

もちろん、在宅ケアを支援する為の施設ケアも必要であるが、今後年金等が十分でない方も多く、在宅での支援の方が料金が約2/3と抑えられる事も魅力となる。

しかも、それに伴う介護離職も家族がしなくて済むことで経済効果も見込める。

ii) 高齢者支援と防災

各地区に防災拠点を作るよりも、少ない支出で防災拠点を作る。東北大震災や能登地震を見ても、高齢者などはその地域からの脱出が難しい。一時的に避難するにしても環境が整備されていないとかなりのストレスとなりうる事も考えられる。そのため、地域にある介護事業所(デイサービスなど)に、福祉防災拠点としての役割を持ってもらう。介護事業所は、BCPの策定も順調に進んでいる所が多く、食料品や簡易充電機、簡易トイレ等の備蓄を行っている。

また、ベッドやケアに必要な道具等もある為、高齢者等の一時避難先などへの活用が見込める。ただし、備蓄を準備する資金が乏しい所も多く、助成金で賄う。市が全部準備するよりは、各地域にある事業所を活用し、また、一部補助とする事で市の支出も抑えられるのではないか。防災拠点(地域住民との避難訓練等)の取組をする所へインセンティブをつけるなど。

iii) 移住者施策

人手不足が課題となっていることについて、現状の移住者支援を、県外からの移住者に対しての施策を検討。

移住して2年間は住民税の免除や結婚して子供を2人産んだ方等条件を付ける。また、移住後日向市内の企業に就職した場合等。

その条件が守れなかった場合は、追加で税を徴収する等検討。

iv) 高齢者と子供支援

学校の空き教室を利用しての地域との活動。高齢者と子供の支援を一緒に行ったり、高齢者が放課後の子供の支援をする。またこども食堂と合わせて実施する等、働く親を支援する形をとると共に、子供も多世代交流ができる。

v) 学校の施設利用

災害時に一番に利用が考えられるのが、地域の小中学校等の体育館や教室である。ただし市内

どこも古く大きな地震が来た際に受入れができなくなる可能性もある(体育館の窓ガラスや壁が壊れている所もある)。

全体的に建て替えではなく、補修を行う。また補修を行う際に、それぞれであるスポーツに特化した改修を行うと良いのではないかと考える。

例えばある小学校の体育館をバスケットに特化したものに改修する事で、中体連などの会場として使え、市外からの練習試合や大会への対応が可能とする。

また学校の図書室や家庭科室を開放する事で地域の方の料理教室や本への興味、図書館まで行くのではなく、身近な所で本に接する機会になる。

パソコンで本館にある本を探す事も出来る為、借りたい場合は、小学校へ届けて貰う等対策ができるかと考える。

vi) エンターテインメントの活用

日向坂 46 の「ひなたフェス」にての宮崎での経済波及効果が約 29 億円と発表があった。現在、消費が著しいのがオタクと言われる人達である。「推し」と言い、芸能人や漫画、映画等で利用された土地をめぐる聖地巡礼がある。

前記の「おひさま」の人達で言えばひなた坂まで交通手段がなく徒歩で行ったりその後 SNS で、酷評をしていた方もいた。約 5 万人、そのうちの 8 割は県外者であったとの事。

ただし、もう一度行きたいとの声も聴かれている。ひなた坂に関しては、今後も継続して設置していただけるのであればまだまだ観光客の来市も期待できるものであり、経済効果もあると思われる。

また、日向市出身の「大暮維人」氏もいらっしゃったりする為、まだ知らない日向市をそのような媒体で知ってもらうことも大事ではないかと考える。

以前で言えば、仮面ライダーや西部警察の撮影でも使われた事もある為。

Q10. 次回の座談会で、テーマとしてほしいことがあれば、ご記入ください。

- ・ 将来の夢を目指せる日向市、安心安全なひゅうがしづくりのために
- ・ 観光地のアクセス、宿舎
- ・ 市が管理する所有物は思い切った方法を取ってほしい。
- ・ 市民税の徴収方法について
- ・ 移住希望者に選んでもらえる街づくり 50 年後、100 年後の日向市を考える
- ・ こどもファースト→市長の考える具体策や現役ママさんたちとの意見交換の場。その際、託児システムも用意する（子連れでも気軽に参加できるように）。祖父母の立場で育児経験者としての参加も OK
- ・ 防災
- ・ 市長の一日、おつきの方々の一週間の仕事内容とか…。市役所の方々のお仕事って何をされているかよくわからないので。日向市役所の皆さんのお給料はめちゃくちゃ高い、と県庁職員からなぜかよく文句を言われておりましたが、本当なんですか？
- ・ 移住策について。日向に住み続けるメリット、デメリットとは？